



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院



外科年報

2022



川崎幸病院



外科年報

2022





副院長
診療部長
外科主任部長
後藤 学

川崎幸病院を日頃御支援頂きありがとうございます。

2021年もコロナ感染症に終始した1年でした。当院でもクラスターの発生や職員の出勤停止などに伴い、予定手術の延期や入院制限をするなど地域の方にはご迷惑をお掛けいたしました。地域医療への影響が最小限となるよう悪性腫瘍手術、緊急手術だけは今までと同様に継続することとし2021年は1,178件の手術実績を残すことができました。ひとえに地域の皆様にご信頼いただいた結果を感謝の念に耐えません。今年も病院全体として新型コロナ感染症対策にも油断することなく、当院が本来地域に果たすべき外科治療を変わらず提供して参る所存です。

当院は、今年度より念願の外科専門研修基幹施設となることができました。当科には当院プログラムおよび横浜市大プログラムからの専攻医2名がおります。外科を専攻する若手医師が減少するなかで当院が外科医を志す若手にとってその礎となればと切に願う次第です。専攻医2名に加えて、消化管外科に皆川医師、呼吸器外科に山口医師を新たに迎え当科は総勢18名の大所帯になりました。

川崎幸病院での入院診療はもちろん第二川崎幸クリニックにおいても外科、食道外科、肝胆脾外科、呼吸器外科、乳腺外科、減量外科外来、化学療法外来を展開して参ります。これからも今まで同様皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



外科部長代行
消化管外科部長

成田 和広

平素日頃より川崎幸病院外科にご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

2019年末から続く新型コロナウイルス感染症は、2年以上経過した今年に入っても落ち着くどころか猛威を振り、皆様には対応に追われる日々をお過ごしのこととお察し申し上げます。当院では、「断らない医療」を継続するため感染対策を十分に行い、当院の役目である救急および外科系の専門診療を中心に医療が提供できるように努めております。

外科は、コロナ禍により良性疾患は減少しておりますが急性疾患は増加し、当科が得意とする腫瘍外科を含めた全体の手術件数は昨年より増加してきております。今年度より外科専門研修プログラムも開始し、各専門医がよりよい医療を提供すべく日々研鑽も重ねています。また、皆川医師、外科専攻医として福田医師(当院で初期研修)、哲翁医師(当院プログラム)、そして呼吸器外科に山口医師が加わり、より体制を充実させております。

コロナ禍を契機に医療の機能分化が加速されつつある中、地域の医療機関との連携を密にして対応することにより地域の皆様に還元していきたいと考えております

本年も引き続き当科への変わらぬご支援、ご指導を何卒よろしくお願い致します。

— 消化器病センター 外科 診療基本方針 —

1. 消化器腫瘍・悪性腫瘍疾患に対する高度専門医療の提供
2. 消化器の急性期疾患に対する24時間の対応

外科診療の5本柱

食道外科

消化管外科

肝胆膵外科

乳腺外科

呼吸器外科

下記の疾患についてご紹介ください

診療対象疾患

悪性腫瘍等

食道がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、膵臓がん、胆のうがん、乳がん、肺がん など

良性疾患

消化管良性腫瘍、痔疾患、胆嚢結石、鼠経ヘルニア、腹壁ヘルニア、高度肥満、気胸、肺嚢胞、縦隔腫瘍 など

急性疾患

急性腹症、胃十二指腸潰瘍穿孔、大腸穿孔、腸閉塞、虚血性腸炎、大腸憩室炎、急性胆嚢炎、ヘルニア嵌頓、気胸 など

シームレスな診療の提供 ～ 第二川崎幸クリニックとの連携 ～

外科では、外来施設である第二川崎幸クリニックとの連携を密にし、外来診療・診断から入院治療、そして退院後の療養まで、シームレスな診療を提供しています。

川崎幸病院では入院治療・集学的治療を、第二川崎幸クリニックでは外科外来診療、化学療法外来、日帰り手術はもちろん、がん相談外来、緩和ケア相談外来、がんサロン等の精神的、社会的サポートも行っています。



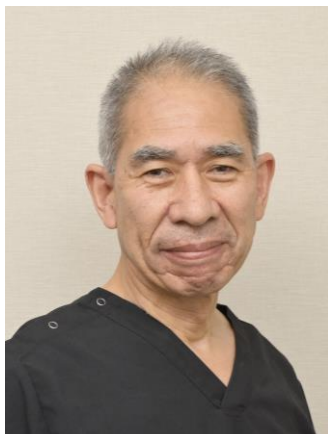
・入院治療
・がん集学的治療
(手術・放射線治療・化学療法)

シームレスな 診療



外科外来/化学療法外来/がん相談外来/
化学療法インテーク外来/緩和ケア相談外来/
漢方外来/リンパ浮腫外来/栄養外来/
がんサロン など

食道外科



副院長
食道外科部長
がん治療センター長
臨床研修センター長

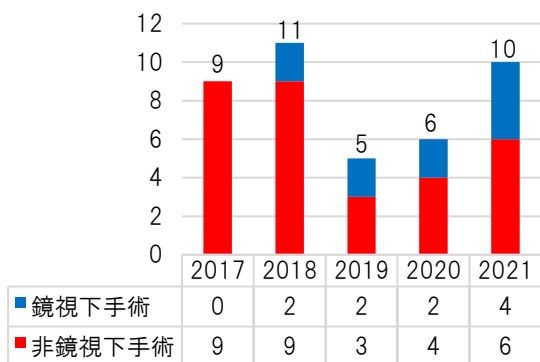
日月(たちもり) 裕司

■ 専門
食道外科
(特に食道がんサルベージ手術)

食道外科では食道がんを主体に、食道裂孔ヘルニア、食道穿孔、食道異物などを治療しています。食道がんの治療では食道癌診療ガイドラインに沿って診断および治療法の選択を行っています。患者さんご家族の選択を尊重し、理解と納得をいただけるまで十分にわかりやすく説明をさせていただきます。外科治療では病態に合わせて胸腔鏡を用いた侵襲の少ない手術を行っています。進行したがんでは、外科治療、放射線治療、化学療法を組み合わせる相乗効果を出す集学的治療が行われます。手術は可能だが手術を受けたくない方や、心臓や肺の状態や年齢などの理由で手術が難しい方などには、化学放射線療法を行うこともあります。手術を選ぶか、化学放射線療法を選ぶか、それぞれの長所・短所を知った上で、慎重に判断していただく必要があります。根治的化学放射線療法後のサルベージ手術の経験も豊富で、他院からの依頼にも対応可能です。

これらの治療には入院と通院を組み合わせる専門的な治療を継続する必要があります。川崎幸病院食道外科は日本食道学会の食道外科専門医と食道科認定医が常勤し、食道外科専門医準認定施設に指定されています。地域の中で安心して食道がんの治療を続けたいという要望に応えるため、地域医療連携室を介して地域の病院、かかりつけ医の皆様とともに、地域の皆様が自分の住み慣れた地域で、国立がんセンターなどの専門病院と同レベルの質の高い食道がん診療を受けることができる医療体制を提供しています。

大動脈外科のある当院の特徴として、大動脈術後の食道穿孔などの難しい病態に対する他施設からの依頼もあり、大動脈外科とも協力して食道切除再建術などにも対応しています。



食道がん切除手術 年次推移

食道がん切除手術	10
サルベージ手術	2
大動脈瘤手術後食道穿孔の食道切除再建	3
食道瘻造設	1
食道周囲膿瘍ドレナージ	1
食道裂孔ヘルニア	2

2021年 手術内訳

消化管外科



外科部長代行
消化管外科部長

成田 和広

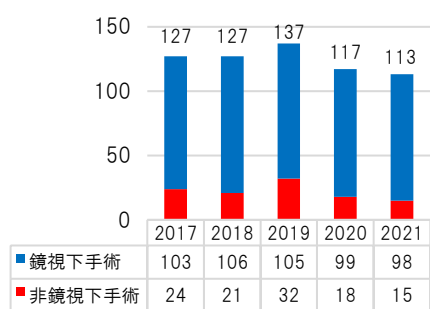
■ 専門

消化器外科(特に大腸肛門外科)
内視鏡外科および消化器内視鏡

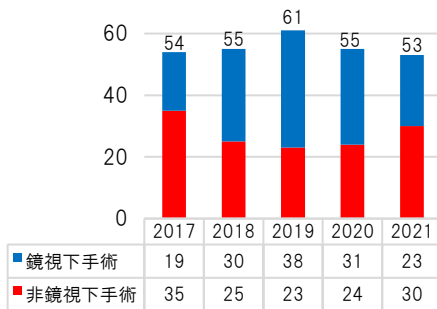
消化管外科は、専門性のある肝胆膵腫瘍や食道疾患を除く、胃から大腸・肛門までの消化管が担当の中心となります。

死因第一位である悪性新生物の中で大腸癌、胃癌は代表的疾患で、第二川崎幸クリニックの消化器総合診療科、消化器内科と連携を取り、健診も含めた早期発見から早期治療、手術にとスムーズな治療を心がけております。また、放射線治療や外来化学療法など癌の集学的治療も行っており、地域の癌診療の拠点としての役割を担っていきます。

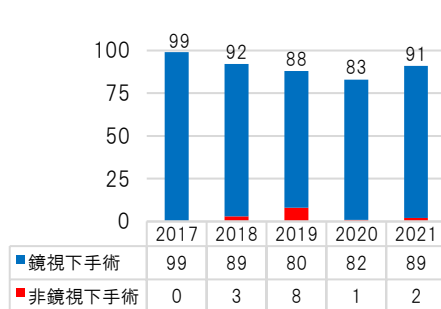
内視鏡外科技術認定医6人を擁し、小さな創から行う低侵襲で整容性の優れた鏡視下手術は得意とするところで、胆石や虫垂炎、鼠経ヘルニア(TAPP、TEP)などの良性疾患はもとより、悪性疾患に対しても積極的に行い、直腸がんの側方郭清や経肛門的鏡視下手術(ISR、TaTME)なども症例に応じて適応を拡大して行っております。そして、緊急手術が全体の約20%を占める中、半数以上を鏡視下手術で行っております。また、ICGを使用し血流を評価することで吻合不全の減少などにも取り組んでおります。胃十二指腸潰瘍穿孔や大腸穿孔、ヘルニア嵌頓も含めた腸閉塞、虚血性壊死性腸炎など、急性腹症に対して24時間365日対応しております。肛門疾患についても、内痔核に対する切らないALTA療法を含めて対応しております。



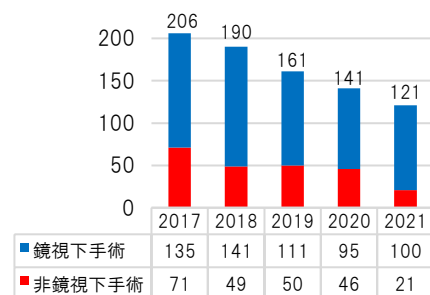
大腸がん手術 年次推移



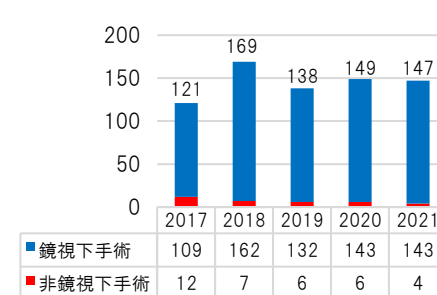
胃がん手術 年次推移



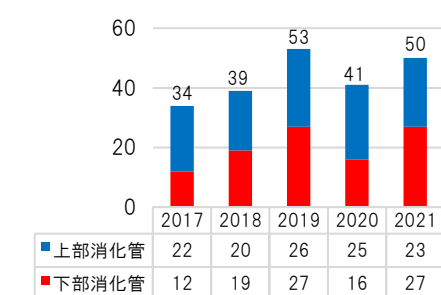
虫垂炎手術 年次推移



ヘルニア手術 年次推移



胆石症手術 年次推移



消化管穿孔手術 年次推移

肝胆膵外科



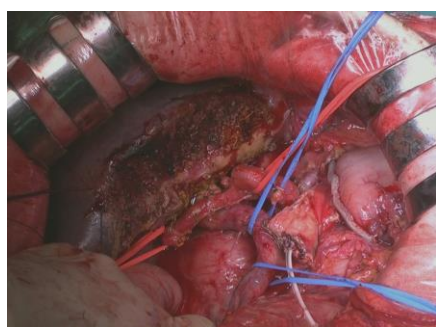
肝胆膵外科部長

原 義明

■ 専門

消化器外科
肝胆膵外科
内視鏡外科

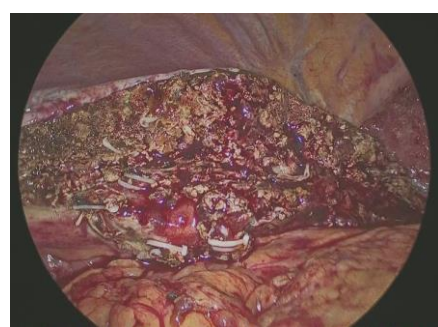
肝胆膵外科では、肝臓、膵臓、胆嚢、胆管、脾臓などの腫瘍、良性疾患を扱っています。肝臓領域では、肝癌、転移性肝腫瘍を始めとする腫瘍性疾患に対して、術前にCT volumetry, 3Dシミュレーションによる詳細な評価を行い、術中ナビゲーションにも用いています。切除可能膵癌はガイドラインに従って、原則として術前化学療法を行った後に切除を行っています。ボーダーラインあるいは切除不能症例でも、集学的治療が奏功した症例では根治切除が可能になることもあります。必要な症例では門脈などの血管合併切除も積極的に行い、常にR0(完全切除)を目指した手術を心がけています。肝切除、膵体尾部切除については症例に応じて腹腔鏡下手術も行っております。肝胆膵領域の手術は高難度手術も多いですが、常に「根治性と安全性の両立」を第一に手術を行っています。また胆嚢炎、胆石症症例については年間150例程度行っており、そのほとんどに対して腹腔鏡下手術を行っています。ご高齢の患者様も多いですが、患者様それぞれに応じた最適な治療を考慮して診療しています。いつでもご連絡、ご紹介いただければ幸いです。



肝膵同時切除(胆管癌)



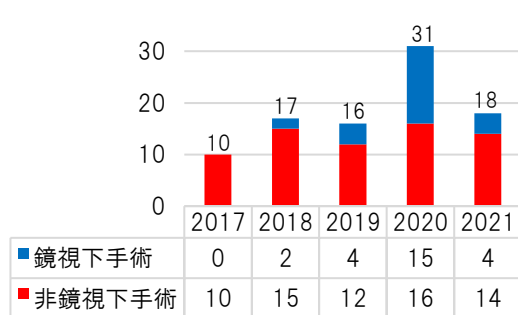
腹腔鏡下脾温存膵体尾部切除
(膵体部IPMN)



腹腔鏡下肝外側区域切除(肝細胞癌)

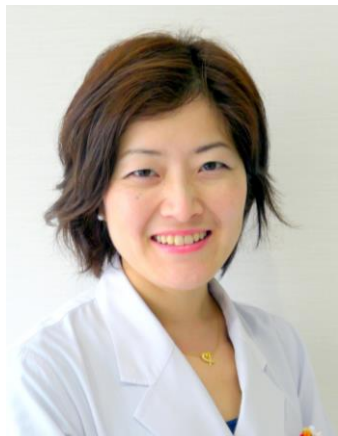


膵切除術 年次推移



肝切除術 年次推移

乳腺外科



乳腺外科副部長

木村 芙英

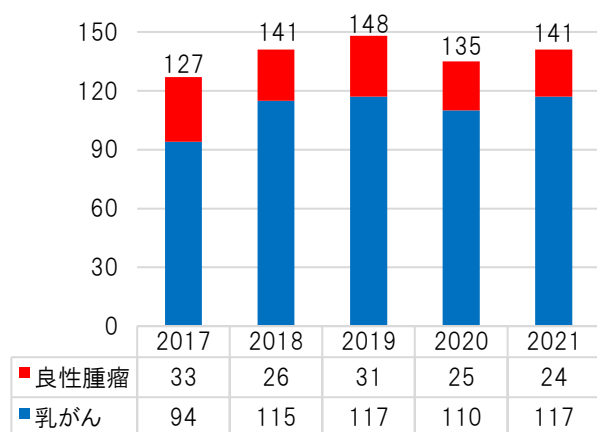
■ 専門

乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

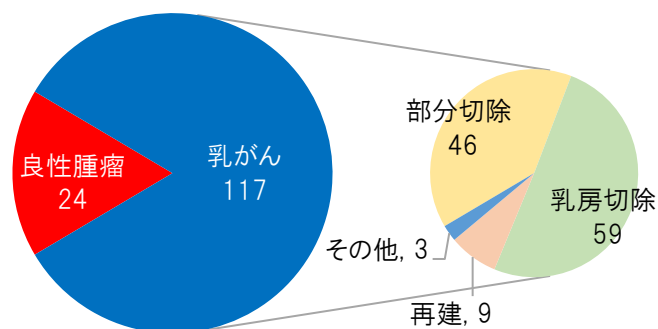
いつも多くの患者様をご紹介いただき有難うございます。乳腺専門医師が3名常勤することで受診までの患者様の待ち時間を少なくし、満足のいく説明の時間を設けております。当日検査を行える環境を整え、不安を素早く解決することを目指しています。お忙しい方に通いやすいよう、JR南武線 鹿島田駅直結の「さいわい鹿島田クリニック」でも診療も行っております。

乳癌を始めとする悪性疾患の検診・診断・治療を中心に、乳腺炎、葉状腫瘍などの良性疾患治療も行います。画像診断は乳癌を発見する上で精度が重要となります。クオリティの高いBモード超音波画像に加えエラストグラフィと血流情報で良悪性の判断をするために最上位機種Hitachi HI VISION Ascendusを使用しています。

昨年からマンモグラフィもトモシンセシス(連続断層像)を導入しました。さらに鑑別に迷う症例に対し迅速にMRI対応できる様、環境整備をしました。遺伝診療も近隣大学病院と連携し積極的に取り入れておりますのでご相談下さい。個々のライフスタイルと各々の乳癌の性質にあった個別化治療を親身になって提案してまいります。今年度も患者様にお役立ていただけるよう努めてまいります。引き続き当院との連携にご協力いただけますと幸いです。今後とも宜しくお願い申し上げます。



乳腺手術件数年次推移



2021年 手術件数内訳

呼吸器外科



呼吸器外科部長
臨床研修センター副センター長

長山 和弘

■ 専門

肺がん・縦隔胸壁腫瘍・気胸・漏斗胸
低侵襲手術・拡大手術・肺移植

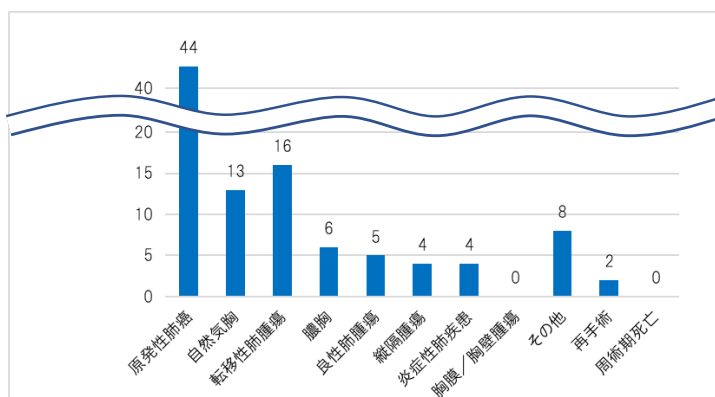
呼吸器外科では、肺・気管・縦隔・横隔膜の部位における疾患を対象としており、原発性肺癌、転移性肺腫瘍、診断がはっきりしない肺内異常陰影、自然気胸、縦隔腫瘍、感染性肺疾患、膿胸、巨大肺嚢胞症、漏斗胸、胸壁腫瘍などが挙げられます。

肺癌をはじめとする当科の対象疾患では、高齢の患者さんが多く、呼吸器疾患や心疾患、糖尿病等の併存疾患を有する傾向にあるため、術後のQOLを保つために、病状に応じて、小さな創で、肺機能を温存し、根治を目指せる外科治療が求められています。当科で実施している術前気管支鏡下肺マーキング(VAL-MAP法)を用いた精密胸腔鏡下肺縮小手術は、近年増加傾向の小型肺癌や微小転移性肺腫瘍に対して、過不足のない縮小手術(少ない肺切除量で呼吸機能を温存する術式)を行うことが可能です。また、縦隔腫瘍に対する単孔式縦隔腫瘍手術は、術後鎮痛薬の内服を殆ど必要としない、超低侵襲手術です。いずれも国内で実施している施設は限られており、当科の大きな特色といえます。

悪性腫瘍以外でも、若年者の原発性自然気胸、高齢者に多い続発性自然気胸、感染性肺疾患、膿胸に対する外科治療を積極的に行っております。手術適応の有無に関わらず、幅広く対象疾患の患者さんを受け入れており、切除不能進行再発非小細胞肺癌に対する分子標的治療薬や、免疫チェックポイント阻害薬含むレジメンの化学療法を実施しています。

総入院件数		172
予定入院		115
緊急入院		54
転科		1
他科手術		2
緊急入院内訳	原発性肺癌	7
	自然気胸	25
	(原発性自然気胸)	15(うち手術9)
	(続発性自然気胸)	10(うち手術3)
	胸部外傷	7(うち手術3)
	膿胸	8(うち手術1)
その他		7

手術件数(100件)



減量外科外来

海外では高度肥満症に対する外科手術が積極的に行われており、劇的な体重減少や、糖尿病や高血圧症などに対する改善などが多数報告されています。

日本では2014年に腹腔鏡下スリーブ状胃切除術が保険収載されましたが、実施可能な施設は限られているのが現状です。

当院では2019年より、保険診療による腹腔鏡下スリーブ状胃切除術を導入致しました。腹腔鏡下スリーブ状胃切除術とは、胃を特殊な器具に沿わせて切離し、胃のサイズを100ml程度へ縮小させる術式です(図1)。当院の平均手術時間は2時間以内であり、全ての症例が術後3日目に退院しております(図2)。術後1ヶ月以内の再入院は無く、術後1年の平均体重減少は約40kgと非常に良好です。手術件数も年々増加しており、2021年は33症例でした(図3)。術後は多職種での外来フォローを継続し、長期間に渡って体重減少が維持できるようサポートさせていただきます。なお、日本語以外での外来診療(英語、スペイン語、ポルトガル語)や、オンライン診療(日本語、英語)も行っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。



外科医長 網木 学

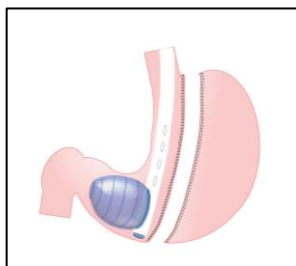


図1

2019年12月～2021年12月	手術症例 (48名)
手術時間 (分)	119 (87～178)
術後早期の合併症	0
術後在院日数 (日)	3

図2

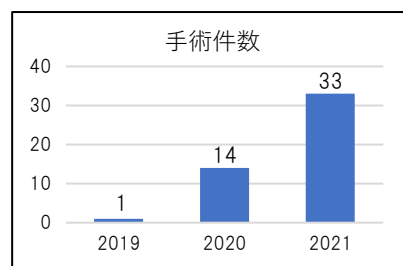


図3



治療に関する疑問点などについてはE-mailでも対応しておりますのでお気軽にご相談ください。
E-mail: genryou@saiwaihp.org



副院長
患者支援センター長
呼吸器外科顧問
中央診療部門長
藤野 昇三

救急部開設から1年が経過し一応の基礎固めが完成しました。一定の役目を果たしたことで私は救急部部長の任を解かれ、2022年4月1日付で新たに組織配置された中央診療部門長に任命されました。救急部部長在職時の救急車の受け入れ台数は13か月間で10,639台と本来の姿を取り戻すことができました。中央診療部門はこれまで無かったものですが、具体的には各診療科に共通する診療科(救急部・放射線診断科・病理診断科)をまとめて有機的に活動できることを目指したものです。臨床に関してはこれまでと同様に顧問というポストで呼吸器外科に関わらせて頂いています。私の主な担当は週2回の外来と肺癌の化学療法です。残念ながら肺癌は現在でも手術対象にはならない患者さんが多く化学療法が治療法の大きな選択肢となっています。消化器領域や乳腺領域と比較するとまだまだ件数が少ない状況ですが、今年度は枠を増やして症例数の増加を目指したいと考えています。

コロナ禍もついに第7波に突入してしまい皆さまに置かれましては緊張の日々が続いていることとお察し申し上げます。

さて当院外科は昨年より専門性を高めた外科医療を提供すべく内部調整を進めコロナ禍にも怯まず腹部内視鏡外科手術、腹部救急手術そして乳腺、呼吸器外科手術などに対して質の高い医療を提供しております。また外来部門である第二川崎幸クリニックでは手術前、手術後外来に加え、日帰り化学療法や日帰り手術を行っております。化学療法部門では聖マリアンナ医科大学腫瘍内科とコラボを開始し、遺伝子パネル試験によるいわゆるPrecisional Medicineを実施、常にup to dateな医療の提供を行っております。日帰り手術ではこれまでの痔核手術、CVポート留置術、乳腺部分切除術等に加え鼠経ヘルニア手術を開始しております。

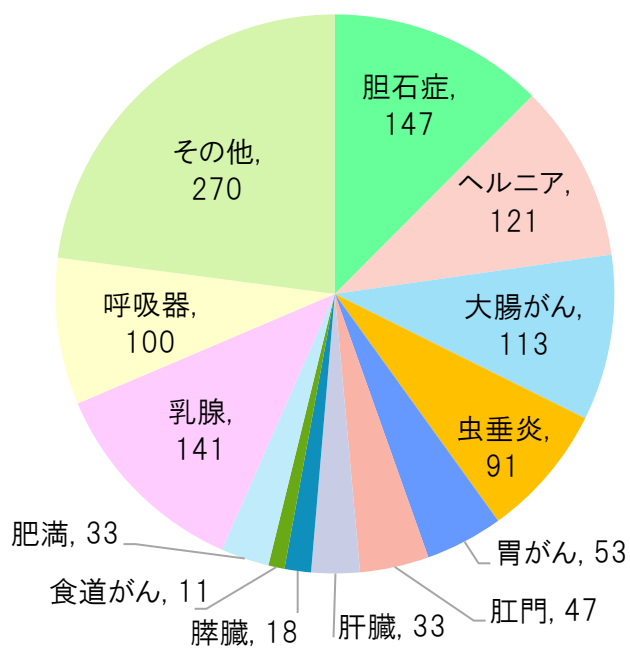
当科はコロナ禍という混沌とした時代においても常に患者中心の医療を心がけ、また時代の一步先を見据えた医療の展開を行っております。皆様には変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



外科顧問
第二川崎幸クリニック院長
関川 浩司

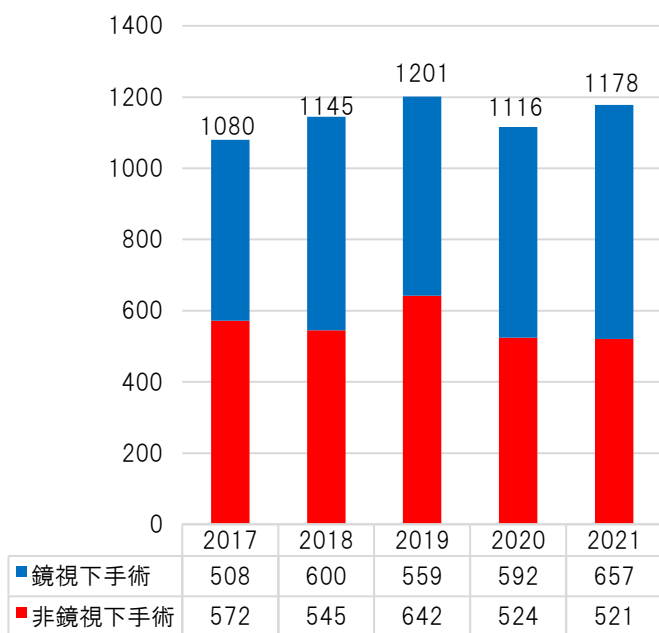
手術実績 (2021年1月～2021年12月)

手術件数内訳(全1,178件)

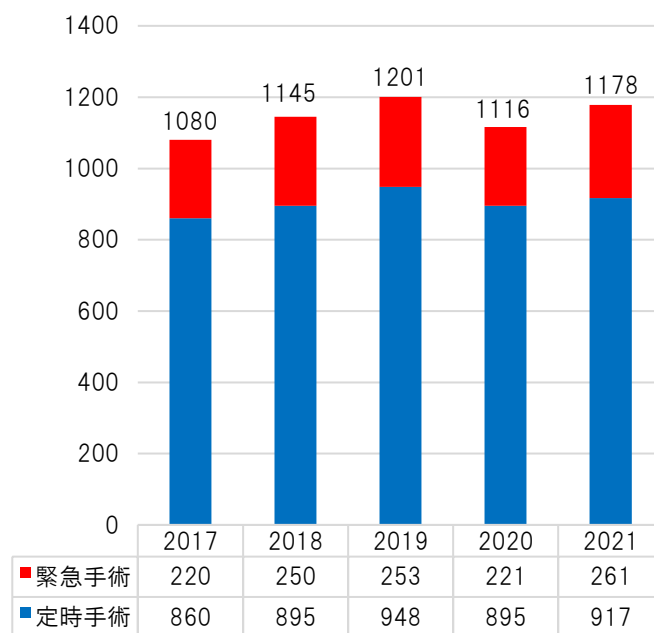


胆石症	147
ヘルニア	121
大腸がん	113
虫垂炎	91
胃がん	53
肛門	47
肝臓	33
膵臓	18
食道がん	11
肥満	33
乳腺	141
呼吸器	100
その他	270
合計	1,178

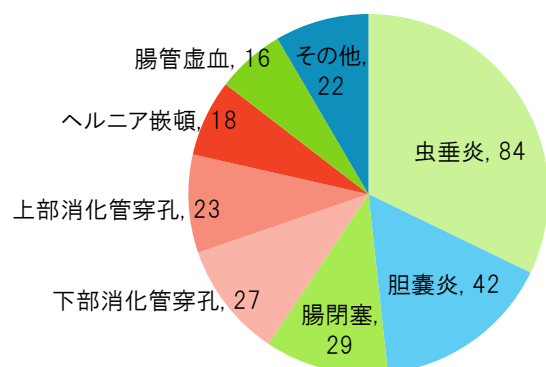
総手術件数と鏡視下手術 年次推移



緊急手術と定時手術 年次推移



緊急手術件数内訳(全261件)



虫垂炎	84
胆嚢炎	42
腸閉塞	29
下部消化管穿孔	27
上部消化管穿孔	23
ヘルニア嵌頓	18
腸管虚血	16
その他	22
合計	261

学会発表 (2021年1月～2021年12月)

学会発表

発表者	期間	学会名	演題名	開催地
伊藤 慎吾	2021.2.19	第17回日本消化管学会総会学術集会	高齢者大腸癌に対する腹腔鏡手術の安全性についての検討	大阪
伊藤 慎吾	2021.3.10	第33回日本内視鏡外科学会総会	Feasibility and safety of laparoscopic colorectal surgery for elderly patients	横浜
石山 泰寛	2021.3.11	第33回日本内視鏡外科学会総会	Which is worse?CA crossing anterior vs posterior to SMV during curative resection for right-sided colon cancer	Web
石山 泰寛	2021.3.12	第57回日本腹部救急医学会総会	腸管虚血症例に対するiCG蛍光法による血流評価の有用なのか？	Web
網木 学	2021.3.12	第33回日本内視鏡外科学会総会	Portal mesenteric vein thrombosis after sleeve gastrectomy:report of two cases	Web
網木 学	2021.3.20-1	第41回日本肥満学会第38回日本肥満症治療学会学術集会	当科における腹腔鏡下スリーブ状胃切除術におけるOptical View法によるFirst Trocar挿入の成績	Web
網木 学	2021.3.27	第859回外科集談会	当院における腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の導入と治療成績	Web
望月 一太郎	2021.3.27	第859回外科集談会	当科における心大血管疾患治療後の虚血性腸炎に対する手術例の検討	Web
石山 泰弘	2021.4.8-10	第121回日本外科学会定期学術集会	大腸癌術後の縫合不全に対する再手術となる危険因子とは？	Web
伊藤 慎吾	2021.4.15-16	第107回日本消化器病学会総会	一般病院における切除不能進行再発大腸癌症例に対するがん遺伝子パネル検査の実践	Web
木村 英英	2021.5.15-16	第46回日本乳癌甲状腺超音波医学科学術集会	クリニック医師のためのワークショップ:USカテゴリー3の症例どうしていますか？	Web
木村 英英	2021.5.15-16	第46回日本乳癌甲状腺超音波医学科学術集会	一般演題 乳癌1 座長	Web
長山 和弘	2021.5.19-21	第38回日本呼吸器外科学会学術集会	重症心不全に対するCentral ECMO装着中に発症した有酸素性代謝に対し、開窓術後に陰圧閉鎖療法を併用した1例	Web
石山 泰寛	2021.6.17-19	第46回日本外科系連合学会	大腸癌術後の縫合不全の重症度は長期成績に影響を与えるのか？	Web
伊藤 慎吾	2021.6.17-19	第46回日本外科系連合学会	当院における診療看護師の勤務実態とPICC挿入について	Web
中村 幸子	2021.6.18	第27回日本遺伝性腫瘍学会学術総会	当クリニックでHBOCと診断された乳癌3症例の考察と課題	Web
木村 英英	2021.7.1-3	第29回日本乳癌学会学術集会	コロナ禍における乳癌診断遅延と予後への影響	横浜
中村 幸子	2021.7.1-3	第29回日本乳癌学会学術集会	当クリニックで経験したがん遺伝子パネル検査の2症例	横浜
伊藤 慎吾	2021.7.7-9	第76回日本消化器外科学会総会	当院の直腸癌における縫合不全防止の取り組み	京都
望月 一太郎	2021.7.7-9	第76回日本消化器外科学会総会	当科における心大血管疾患治療後の虚血性腸炎に対する手術例の検討	京都
石山 泰寛	2021.7.7-9	第76回日本消化器外科学会総会	脾彎曲部の横行結腸癌に対するリンパ節郭清はどこまでする必要があるのか？	京都
原田 龍之助	2021.7.7-9	第76回日本消化器外科学会総会	急性虫垂炎に対する Interval Appendectomy の現状と至適時機期間の検討	京都
木村 英英	2021.10.9	第47回日本乳癌甲状腺超音波医学科学術集会	超音波診断装置を用いた母乳育児ケア	Web
中村 幸子	2021.10.13-15	日本人類遺伝学会第66回大会 第28回日本遺伝子診療学会大会	症例から学んだ、がん遺伝子パネル検査のタイミング	横浜
木村 英英	2021.10.16-17	日本超音波医学会第33回関東甲信越地方学術集会	乳癌疾患のイメージリーディング 症例3	Web
伊藤 慎吾	2021.10.21-23	第59回日本癌治療学会学術集会	腹腔鏡手術の高齢者大腸癌に対する安全性の検討	神奈川
石山 泰寛	2021.11.12-13	第76回日本大腸肛門病学会	脾彎曲部横行結腸癌に対する脾臓、腎前筋膜を意識した手術手技	広島
伊藤 慎吾	2021.11.12-13	第76回日本大腸肛門病学会	高齢者大腸に対する腹腔鏡手術の安全性についての検討	広島
原田 龍之助	2021.11.12-13	第76回日本大腸肛門病学会	閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置後の当院における術後短期成績	広島
網木 学	2021.11.18-20	第83回日本臨床外科学会	当科における腹腔鏡下スリーブ状胃切除術定型化の試み	東京
伊藤 慎吾	2021.11.18-20	第83回日本臨床外科学会	ナースと考える外科診療:外科診療における特定行為研修制度の可能性	東京
望月 一太郎	2021.11.18-20	第83回日本臨床外科学会	高度肥満の急性虫垂炎に対しOptical法で行った腹腔鏡下手術の1例	東京
石山 泰寛	2021.11.18-20	第83回日本臨床外科学会	中結腸動脈周囲の郭清を行った横行結腸癌症例の手術手技と成績	東京
木村 英英	2021.11.26-27	第31回日本乳癌検診学会学術総会	コロナ禍における乳癌診断遅延と予後への影響—都市と地方の比較—	京都
網木 学	2011.12.2-4	第34回日本内視鏡外科学会	肥満外科手術におけるOptical法によるfirst trocar挿入のポイント	兵庫
伊藤 慎吾	2011.12.2-4	第34回日本内視鏡外科学会	一般病院における大腸技術認定医取得にむけた取り組み	兵庫
原田 龍之助	2011.12.2-4	第34回日本内視鏡外科学会	当院での最速ヘルニアに対するTAPPとTEPの短期手術成績～後期レジデントとして両術式を経験して～	兵庫
石山 泰寛	2011.12.2-4	第34回日本内視鏡外科学会	左側結腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除の手術手技	兵庫
小根山 正貴	2021.12.4	第12回神奈川ヘルニア研究会	「腹腔鏡手術」	Web
網木 学	2021.12.18	第862回外科集談会	当院における腹腔鏡下スリーブ状胃切除術の手技のポイントと治療成績	Web
阪本 大貴	2021.12.18	第862回外科集談会	盲腸癌転移に対して手術加療を要した2例	Web

セミナー・カンファランス

演者	期間	セミナー・カンファランス	演題名
伊藤 慎吾	2021.3.11	EAファーマ株式会社主催「便秘Webセミナー」	術後患者の排便管理の現状と問題点

論文

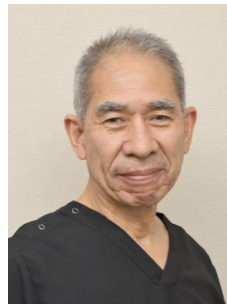
発表者	雑誌名	タイトル
左近 龍太	Journal of Surgical Case Reports.2021 Jan 29;2021(1):rjaa586	Successful one-stage laparoscopic procedure for de Garengeot hernia: a totally extraperitoneal repair—first approach
石山 泰寛	Diseases of the Colon & Rectum.2021 May;64(5):e104	Laparoscopic Total Mesorectal Excision for Rectal Cancer: A Propensity Score-Matched Analysis—Is There an Effect of the Learning Curve?
石山 泰寛	Asian Journal of Surgery.2021 Feb;44(2):485-487	Anastomotic leakage following colorectal cancer surgery: Comparison between conservative and surgical treatment
石山 泰寛	外科 2021.4;Vol.83(4):380-384	腎移植後21年目にS状結腸憩室穿孔治療後にreverse Hartmann手術を施行し周術期管理に難渋した1例
石山 泰寛	Annals of Surgery.2021 Dec 1;274(6):e939-e940	Impact of Facilitation of Early Mobilization on Postoperative Pulmonary Outcomes After Colorectal Surgery: A Randomized Controlled Trial
伊藤 慎吾	Journal of Medical Case Reports.2021 May 5;15(1):237	Primary malignant melanoma of the esophagus successfully treated with nivolumab: a case report
長山 和弘	JTCVS Techniques 2021 Apr;6:163-165	Lobectomy for lung cancer in a patient with Fontan circulation: A case report
石山 泰寛	外科 2021.11;Vol.83(12):1341-1346	孤立性上腸間膜動脈解離を伴う虚血性腸炎に対してインディアングリーン蛍光法で腸管温存を行えた1例
木村 英英	Journal of Case Reports and Images in Oncology 19th August, 2021	Association of BRCAness with taxane resistance in triple-negative breast cancer: A study of 7 cases



副院長
診療部長
外科主任部長
後藤 学

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 身体障害者指定医
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医



副院長
食道外科部長
がん治療センター長
臨床研修部長

日月(たちもり) 裕司

■ 専門
食道外科
(特に食道がん手術)

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医、指導医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本胸部外科学会指導医
- ・ 日本食道学会食道外科専門医・食道科認定医
- ・ 医学博士



外科部長代行
消化管外科部長

成田 和広

■ 専門
消化器外科(特に大腸肛門外科)
内視鏡外科および消化器内視鏡

■ 認定資格等

- ・ 医学博士(甲)
- ・ 日本外科学会認定医・専門医・指導医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本大腸肛門病学会専門医・指導医
- ・ 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
- ・ 日本消化器病学会専門医・指導医
- ・ 日本救急医学会救急科専門医
- ・ 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・評議員
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸)・評議員
- ・ 日本臨床外科学会評議員
- ・ 日本外科感染症学会評議員
- ・ 大腸癌研究会施設代表者
- ・ 大腸ステント安全手技研究会世話人
- ・ 神奈川ストーマ研究会世話人
- ・ 川崎市外科医会常任幹事
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医
- ・ ICD(認定)
- ・ 身体障害者指定医
- ・ 内痔核治療法研究会四段階注射法講習会修了
- ・ TNTコース修了
- ・ 緩和ケア研修会修了
- ・ 仙骨神経刺激療法講習修了
- ・ 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会修了



肝胆膵外科部長
原 義明

■ 専門
消化器外科
肝胆膵外科
内視鏡外科

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会認定医・専門医・指導医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本肝臓学会肝臓専門医
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(胆道)・評議員
- ・ 日本肝胆膵外科学会評議員
- ・ 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医・評議員
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医
- ・ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・ 日本移植学会移植認定医
- ・ 日本胆道学会指導医
- ・ 医学博士



外科医長
網木 学

■ 専門
肥満減量外科

■ 認定資格等

- ・ 麻酔科標榜医
- ・ 日本外科学会専門医・指導医
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(ヘルニア)・評議員
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医
- ・ 検診マンモグラフィ読影認定医
- ・ 日本ヘルニア学会評議員



外科医長
小根山 正貴

■ 専門
消化器外科(食道・胃・胆嚢・大腸・ヘルニア)
内視鏡外科

■ 認定資格等

- ・ 医学博士(甲)
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(ヘルニア)
- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本消化器病学会専門医
- ・ 日本消化管学会胃腸科認定医・専門医・指導医
- ・ 内痔核治療法研究会四段階注射法講習会修了
- ・ 日本がん治療認定機構がん治療認定医
- ・ 日本食道学会食道科認定医
- ・ 身体障害者指定医
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医
- ・ 難病指定医
- ・ 神奈川ヘルニア研究会世話人
- ・ 神奈川胃癌研究会世話人
- ・ 緩和ケア研修会修了

外科医長
伊藤 慎吾

■ 専門
消化器外科

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医・消化器がん外科治療認定医
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸)
- ・ 日本消化器病学会専門医
- ・ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・ 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・評議員
- ・ 日本消化管学会胃腸科専門医
- ・ 厚生労働省認定臨床研修指導医
- ・ 内痔核治療法研究会四段階注射法講習会修了
- ・ 緩和ケア研修会修了
- ・ 難病指定医
- ・ 検診マンモグラフィ読影認定医
- ・ 医学博士



外科医長
石山 泰寛

■ 専門
消化器外科
大腸外科

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本消化器外科学会専門医・指導医
- ・ 日本消化器病学会専門医
- ・ 日本内視鏡外科学会技術認定医(大腸)・評議員
- ・ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・ 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・評議員



シニアレジデント
望月 一太郎

シニアレジデント
皆川 結明

シニアレジデント
哲翁 直之

シニアレジデント
福田 敏之

呼吸器外科



呼吸器外科部長
臨床研修センター副センター長
長山 和弘

■ 専門

肺がん・縦隔胸壁腫瘍・気胸・漏斗胸
低侵襲手術・拡大手術・肺移植

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本呼吸器外科学会専門医
- ・ 日本移植学会認定医
- ・ 医学博士

呼吸器外科医長

山口 寛和

■ 専門

一般外科
気管支鏡

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 医学博士
- ・ ALS、BLS
- ・ Da Vinci First Assistant 認定
- ・ 厚生労働省認定オンライン診療研修修了



副院長
患者支援センター長
呼吸器外科顧問
中央診療部門長
藤野 昇三

■ 専門

肺がん・縦隔胸壁腫瘍・気胸
漏斗胸・呼吸器領域の内視鏡手術

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会指導医
- ・ 日本胸部外科学会指導医
- ・ 日本呼吸器外科学会終身指導医・専門医
- ・ 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医
- ・ 日本呼吸器学会指導医

乳腺外科



乳腺外科副部長

木村 芙英

■ 専門

乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医・指導医
- ・ 日本乳癌学会専門医・指導医
- ・ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・ マンモグラフィー読影As認定医
- ・ 日本超音波医学会超音波専門医
- ・ 緩和ケア研修会修了
- ・ 医学博士
- ・ 東京医科大学病院乳腺科兼任講師

乳腺外科医長

中村 幸子

■ 専門

乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本乳癌学会専門医
- ・ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- ・ マンモグラフィー読影A認定医
- ・ 乳腺超音波読影認定医
- ・ 緩和ケア研修会修了
- ・ 医学博士



乳腺外科

関 晶南

■ 専門

乳癌の検診・診断・治療、
乳房の良性病変に対する治療

■ 認定資格等

- ・ 日本外科学会専門医
- ・ 日本乳癌学会認定医
- ・ マンモグラフィー読影認定医
- ・ 乳腺超音波読影認定医
- ・ 緩和ケア研修会修了

患者さんのご紹介

川崎幸病院は外来分離をしており、救急外来のみを行っている急性期病院です。

緊急性のある患者さんは川崎幸病院にご紹介ください。

専門外来は第二川崎幸クリニックで行っております。

予約制となっておりますので、予約専用番号へご連絡ください。

緊急性のある患者さんのご紹介

川崎幸病院**救急外来**で対応致します。

☎ :044-544-4638

(地域医療連携室直通)

※ 直通電話は17時以降は受付に転送されます。



川崎幸病院

川崎市幸区大宮町31-27
TEL:044-544-4611(代表)

専門外来へのご紹介

第二川崎幸クリニック

☎ :044-511-2112

(予約専用番号)



社会医療法人財団 石心会

第二川崎幸クリニック

川崎市幸区都町39-1
TEL:044-511-1322(代表)

予約方法について



無料シャトルバスのご案内

川崎駅西口より、第二川崎幸クリニック行の無料シャトルバスを運行しております。

時刻表につきましては、QRコードよりご確認ください。

※ 川崎幸病院を経由する大型バスは運休しております。



シャトルバスのご案内

